

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 13:30~ くらしの植物苑東屋

第110回 5月24日(土) 『身近な山菜』 中川重年 (本館客員教授)

第111回 6月28日(土) 『梅雨の植物』 中川重年 (本館客員教授)

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp>



シャガ
(アヤメ科アヤメ属)



サワフタギ
(ハイノキ科ハイノキ属)



ミヤコワスレ
(キク科ミヤマヨメナ属)



サンザシ
(バラ科サンザシ属)



ホウレンソウ
(アカザ科ホウレンソウ属)



トチノキ
(トチノキ科トチノキ属)



ムラサキ
(ムラサキ科ムラサキ属)



カマツカ
(バラ科カマツカ属)



サラサドウダン



ヘラオモダカ
(オモダカ科ヘラオモダカ属)



ホオノキ
(モクレン科モクレン属)



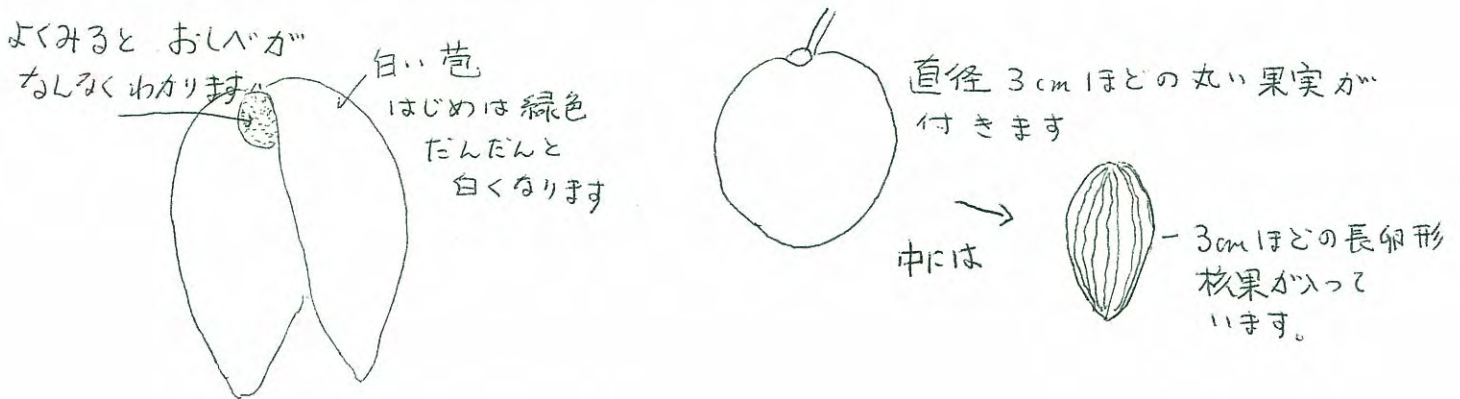
ハンカチノキ
(ダビチア科ハンカチノキ属)

ハンカチノキ (ダビディア科)

(ハンカチノキ科) (オオギリ科) (「ニッサ科)

中国西南部の標高 2000m 付近の山地に分布する 1 属 1 種で、15~20m になる落葉高木です。白いハンカチにみえるところは苞で 2~3 枚あります、それに包まれている約 2cm の頭状花序には多数の雄花と 1 個の両性花があります。2006 年にはたくさんの花をつけましたが、去年は 1 個の花でした。今年はたくさんの花をつけています。

いまは日本に自生はしていませんが、化石では特徴的な核果が産出します。発見者の Arman David を記念して命名されました。



ホオノキ (モクレン科ホオノキ属)

日本の固有種で、山野の河川沿いの平坦地に自生する落葉高木で、高さ 30m、直径 1.2m にもなります。咲いている期間はたいへん短く、朝つぼみだったものが夕方には、咲き終わっています。花は白く大きく 15cm くらいあります。花卉の外側は少し淡い緑色をしています。花が開くと白い花卉の間に赤い色が見えます。それは雄しべの花糸で雌しべの束を囲むように付いています。

味噌を大きな葉に乗せて焼いた朴葉味噌や、材は加工しやすく細工物や家具の材料としてつかわれます。

